



BIOME

たからもの  
for  
おくりもの  
2021



©木内達朗

## BIOME の Kanjiru (Art) 展覧会

### 「たからもの for おくりもの 2021」

恒例イベントとして 2021 年も開催。29 名のアーティストからの“たからもの”な作品が集合。

自分への“たからもの”として。誰かへの“おくりもの”として。目を奪われ、心が躍る作品がたくさん集まる、「たからもの for おくりもの」展を、2021 年も恒例イベントとして開催いたします。  
参加アーティストや日程等が確定いたしましたので、お知らせいたします。

### 「たからもの for おくりもの 2021」

会 期： 2021 年 1 月 31 日 (土) ~ 2 月 13 日 (土)  
時 間： 13:00 ~ 18:00 (最終日は 16:00 閉廊)  
休 廊： 水曜日  
参 加： 29 名。絵、器、イラストなどのアーティスト

#### 概 要：

アートギャラリーのようでギャラリーではないー

“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」) による Kanjiru (Art) 展覧会の開催は、開設から 1 年余りとなります。

いまだ終息に至っていないコロナ禍を経験しておりますが、考えうる、対処できうる措置の最善策を講じながら、展覧会を実施させていただいております。

2020 年 2 月、BIOME 開設前からあたためていた企画、「たからもの for おくりもの」展を開催させていただきました。「これまでにないイベント」、「おもしろい」、「普段見ることができない作品ばかり」「一度にいろいろな作品を楽しめる」など、嬉しい言葉を多く頂戴し、毎年のイベントとして、開催していくことを決定いたしました。

「たからもの for おくりもの」展は、様々な分野で活躍するアーティストから、一人 1 点で作品を寄せていただきます。

ひとつひとつの作品が、“たからもの”として愛され、大事にされる。

または、“おくりもの”として大切な人へ送られる。

そのような願いを込め、作品のアーティストからのメッセージを添えて、お渡しいたします。

アーティストとしても、ギャラリーとしても、難易度の高い展覧会。この特別な展覧会にぜひ注目ください。

本件に関するお問い合わせ ▶▶▶

BIOME  
(バイオーム)

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-7-15 グローリー山手ビル 101  
tel : 090-3945-2040 email : artroom@biome-kobe.com



たからもの  
for  
おくりもの  
2021



©木内達朗

BIOME の Kanjiru (Art) 展覧会  
「たからもの for おくりもの 2021」

参加アーティストは、下記の通りです。詳しいプロフィールなどは、BIOME のウェブサイトまたは SNS にてご紹介してまいります。なお、出展される作品は、一人1点を予定しております。(順不同・敬称略)

<PAINT>

- ・木内 達朗
- ・Kate Trafeli
- ・宝居 智子
- ・木原 未沙紀
- ・菅野 静香
- ・むらいゆうこ
- ・川島 逸郎
- ・近藤 美和
- ・井上 真紗子
- ・稲田 聡子
- ・中川 彩
- ・橋本 佳奈
- ・村上 トモミ
- ・濱口 友紀奈

<PRINT>

- ・林 陽子
- ・OOYAMANNEKO

<WOOD>

- ・川合 優
- ・笹倉 岳

<METAL>

- ・平戸 香菜

<GLASS>

- ・山本 真衣
- ・松田 苑子

<URUSHI>

- ・黒木 紗世

<PORCELAIN>

- ・戸出 雅彦
- ・土井 善男
- ・林 侑子

<POTTERY>

- ・清水 なお子

<OTHER CRAFT>

- ・山口 茉莉
- ・浅田 雅子
- ・坂本 伸

「たからもの for おくりもの 2021」メイン画のご紹介：

木内達朗 (TATSURO KIUCHI)  
「At all costs」油絵

1966年東京生まれ  
国際基督教大学教養学部生物科卒業

- ・アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン イラストレーション科卒業
- ・東京イラストレーターズ・ソサエティ会員
- ・イラストレーション青山塾講師
- ・ペンスチ主宰
- ・池井戸潤氏の半沢直樹シリーズ、下町ロケットシリーズを含む書籍装画、絵本など多数。



主にデジタルでの創作が多い木内氏には、めずらしい、貴重な油絵をご用意いただきました。創作の技法や手法は、とてもシステムティック。だけれども、作品ひとつひとつに個々の魂が宿るかのようにアナログ的で豊かな表情を魅せます。どこかユーモラスで、世界の中でもひとつ突き抜けたアイディアとセンスが特徴。「たからもの for おくりもの 2021」のフラッグ画として「At all costs」に決めた際には、「テーマに合うかな」と心配ございましたが、それは時代が判断してくれ、油絵としておさまってくれた木内作品としての「おくりもの」ではないかという気がしています。ぜひご期待ください。

本件に関するお問い合わせ



BIOME  
(バイオーム)

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-7-15 グローリー山手ビル 101  
tel : 090-3945-2040 email : artroom@biome-kobe.com